

夢が叶うまちの実現に向けて



下江 一将 議員
(21政会・加西ともて育つ会)



問 市長マニフェストにある「若者・女性がチャレンジ・活躍できるまちづくり」について、4年間の取組と成果について。

答 起業セミナーは令和3年度以降の開催がなく、若者チャレンジ事業助成制度は令和4年度の利用がない状況で、コロナの影響が続いています。若者ターミナルスポットはコロナ禍による利用件数の変動はあるものの活動は継続しており、利用の幅が広がっています。また、令和3年度から4年度にかけて女性リーダー養成講座、ウィメンズネット加西塾を開

催し、8名の方が修了しました。修了生が核となって男女共同参画グループを結成し、活動を開始しています。

これらの状況から、マニフェストの進捗状況としては着実に前進していると考えています。

問 市長マニフェストにある「UJターンによる起業、就業者の創出」について、4年間の取組と成果について。

答 令和元年度から4年度の4年間における起業は合計39件で、平成27年度から30年度の29件から10件増えています。

令和2年9月には起業創業スタートアップ支援事業補助金制度を創設し、令和2年度に1名、3年度に4名が起業しています。また、令和3年4月にはIT事業所コワーキングスペース開設支援事

業補助金制度を創設し、令和3年度に1名が起業しています。令和3年12月からはビジネスグランプリを開催するなど、市としても起業創業に力を注いでいます。

問 夢が叶うまちに向けて何が必要で何に取り組むことが求められるか。

答 (市長) 夢が叶うまち実現には財政基盤をしっかりと確立し、維持していくことが重要です。そして、前に進めることができる組織が必要です。SDGs 未来都市、デジタル田園都市国家構想交付金、脱炭素先行地域の3つからも、市の組織が大きく前進していると考えています。そして、地域においても、新規居住者の受入れ等に取り組むことが市の発展に必要なことの認識が変わってきていると思います。

補聴器購入助成の実現を！



井上 芳弘 議員
(日本共産党)



問 補聴器の購入助成について、今この制度を導入する場合には、行政として課題があるとすればどういったところにあるのかお尋ねします。

答 令和4年6月議会の一般質問でお答えしたように、兵庫県では加齢に伴う難聴と社会活動の関連性を調査するため、県内在住の65歳以上の高齢者を対象に400人を募集し、アンケート調査を行っています。調査の結果については、公開はまだ先になると思われま

は明石市、相生市、養父市、稲美町の4市町が助成制度を設けていることは確認しています。また、加西市シニアクラブ連合会からも助成制度の創設について要望を頂いています。

難聴になると人との会話や交流に支障を来し、家庭でも孤立しやすくコミュニケーション不足により生活の質を落とす原因となることは、これまでの支援の経験からも把握しています。一方、補聴器購入後の活用については利用者により差があり、十分に活用できていない高齢者がいらっしゃることも把握しています。

これらのことを踏まえ、加西市では、兵庫県の調査結果を待ちたいということ、また近隣市の動向についても注視する一方で市内高齢者の現状をしっかりと把握したいと考えています。加えて、補聴器購入後に必要なりハビリにかな

り時間を要することも確認しており、そのような受入先等もしっかりと把握し、内容を吟味した上で、制度の創設に向けては前向きに検討していきたいと考えます。

意見 すでに厚生労働省は、2020年に全国難聴高齢者の社会参加等に向けた適切な補聴器利用、その効果に関する研究として実態調査を行っています。また、シニアクラブからも要望が上がったとお聞きしましたので、ぜひ来年度の事業として進めていただきたい。

■その他の質問項目

- ・ふるさと納税について
- ・公募型プロポーザル方式について
- ・加古川西部土地改良事業について
- ・学校問題について